

手をつなぐボランティア

地域と共に

平成十八年度福祉教育推進セミナーを開催

「ともに生きる力」を育む 福祉教育の展開のために

去る平成十九年二月七日(水)に、かごしま県民交流センター大研修室において、福祉教育推進セミナーを開催いたしました。

今回のセミナーは、イア・NPO等幅広い地域資源と連携し、質の高い福祉教育を推進するため、上表の内容で行いました。

社会福祉協議会関係者をはじめ、学校関係、福祉施設、民生委員児童委員等多方面から約百人の参加を得ることができ、福祉教育への関心の高さがうかがえました。

講演および事例発表の要旨についてご紹介いたします。

実践としての福祉教育を、社会福祉協議会や学校関係者、ボランテ

や達成状況を見守る組織づくりと、学校や社会福祉協議会などとの連携の重要性について報告がありました。

また、長崎県の実践事例の紹介等を交え、学校や社会福祉協議会だけでなく、地域ぐるみによる福祉教育の展開、団塊の世代の方がたへの期待、そして子どもによる福祉のまちづくりのプログラムなど、福祉教育の展開に向けての幅広い提案がなされました。

②事例発表

知覧小学校からは、「手で読む」という単元を使つての点字にふれさせる学習や、総合的な学習の時間でのバリアフリーやユニバーサルデザインの学習等で興味・関心のある課題ごとにグループに分かれ、調査・体験活動を行ったことが紹介されました。

最後に、ふれあい発見学校から、不登校により集まってくる子どもたちの姿やフリースクールの取り組みが紹介されました。



事例発表風景

ランテニアとして活動する事例が紹介されました。同サロンに集う高齢者はパソコンを、児童はパソコン指導を通して言葉づかいや態度など人との接し方を学ぶなど、相互が学びあえる学習機能があることが紹介されました。

①講演

まず、福祉教育の基本的考え方からはじまり、実際に学校で行われている車いすや手話・点字体験、高齢者・障害者体験等から、当事者に接近できない疑似体験や一過性で散発的な体験学習が行われている課題があることを取り上げられ、発達段階に応じた目標設定

①講演
「質の高い福祉教育プログラムの開発とその視点」
長崎エッセラン大学教授 中野伸彦氏

②事例発表

「伝えたい!体験学習を通して」
知覧町立知覧小学校教諭 古田寛代氏
「たるみずふれ愛サロン」おじちゃんもんせの取り組み
おじちゃんもんせ代表 川南へん子氏
不登校の子もたもんせ
NPO法ふれあい発見学校 辻村拓也氏



講演風景

「質の高い福祉教育プログラムの開発とその視点」
「伝えたい!体験学習を通して」
「たるみずふれ愛サロン」おじちゃんもんせの取り組み
おじちゃんもんせ代表 川南へん子氏
不登校の子もたもんせ
NPO法ふれあい発見学校 辻村拓也氏